

教科名	公民	単位数	2 単位	担当者	大場 昂 倉部 英利子
科目名	倫理	年次	2 年次		
使用教科書 副教材等	教科書 高等学校 倫理(第一学習社) 副教材 最新倫理資料集 (第一学習社) 倫理ノート (第一学習社)				
1 学習の到達目標 (育成すべき資質・能力)					
・古今東西の幅広い知的蓄積を通して現代の諸課題を捉え、より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、人間としての在り方生き方に関わる情報を調べまとめる技能を身に付けることができる。 ・他者と共によりよく生きる自己の生き方についてより深く思索する力や、現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して、論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりできる。 ・人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察やより深い思索を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深める。					
2 学習の評価 (評価規準と評価方法)					
観点	a. 知識及び技能	b. 思考力, 判断力, 表現力	c. 主体的に学習に取り組む態度		
観 点 の 趣 旨	古今東西の幅広い知的蓄積を通して、現代の諸課題を捉え、より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、人間としての在り方生き方に関わる情報を調べまとめる技能を身に付けている。	自立した人間として他者と共によりよく生きる自己の生き方についてより深く思索する力や、現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して、論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりしている。	人間としての在り方生き方に関わる事象や課題に関連して、学習上の課題を意欲的に追究しようとしたり、他者と共によりよく生きる自己の形成に向けて、多面的・多角的に考察しようとしたりしている。		
主 た る 評 価 方 法	定期考査などの筆記試験	定期考査などの筆記試験 授業での発表 レポート等の作成 ワークブックの記述	授業での取り組み ワークブックの記述 プリント等の記述		
占める割合に 評価全体に	50%	30%	20%		
3 学習の目標と振り返り					
	《目 標》 ～何ができるようになりたいか具体的に～		《振り返り》 ～学習の振り返りと今後の課題～		
後 期			【達成できた・一部達成できた・達成できなかった】		

4 学習の内容						
学期	学習内容 (単元)	主な評価の観点			単元（題材）の評価規準	評価方法
		a	b	c		
後期	第1章 人間の心と自己形成 1 青年期の課題と自己形成	○	◎	○	a. 人間の特質や心の仕組みと成り立ちを理解している。 b. 自己の生き方についての思索を深めている。 c. 人間の心のあり方について学習を深めている。	a. 定期考査などの筆記試験 b. 行動の観察，ワークシートにおける作業，レポート等の作成 c. 行動の観察，ワークシートの提出，レポート等の提出
	第2章 人間の存在や価値と宗教 1 ギリシアの思想 2 ユダヤ教とキリスト教 3 イスラーム 4 仏教 5 中国の思想 6 宗教や芸術	◎	○	○	a. 先哲の基本的な考え方を理解している。 b. さまざまな先哲の思想を比較しながら考察している。 c. 人生への問いや人間の存在や価値について，自己の課題と結び付けて思索している。	
	第3章 人間のあり方と社会 1 人間の尊厳 2 科学革命の時代と自然観 3 自由で平等な社会の実現 4 人間性の回復と主体性の確立	◎	○	○	a. 西洋近代の思想について，その背景も含めて理解している。 b. 人間のあり方や社会についての思想を自己の課題とつなげて考察している。 c. 原典資料を活用するなど，先哲の思想内容を主体的に学んでいる。	
	第4章 現代の人間と社会をとらえる思想 1 現代の思想と人間像 2 生命への畏敬と社会参加					
	第5章 国際社会に生きる日本人としての自覚 1 日本固有の思想 2 外来思想の受容 3 町人思想のめざめと庶民思想 4 西洋思想との出会い	◎	○	○	a. 日本人の人間観，自然観，宗教観などを理解している。 b. 日本人のものの考え方がどのように形成されたか，多面的・多角的に考察している。 c. 国際社会に生きる日本人として，自分の生き方やあり方について主体的に考えている。	
	第1章 自然や科学技術にかかわる諸課題と倫理 1 生命の問題と倫理課題 2 地球環境の問題と倫理的課題 3 科学技術の進展と倫理的課題	○	◎	○	a. 現代の倫理的課題を理解している。 b. 人間としてのあり方生き方についての見方・考え方を働かせ，現代の諸課題を探究している。 c. 現代の諸課題について，問題となっている事例を収集し，主体的に解決しようとしている。	
	第2章 社会と文化にかかわる諸課題と倫理 1 福祉の向上と倫理的課題 2 文化と宗教の影響と倫理的課題 3 国際平和と倫理的課題					

4 学習の内容						
学期	学習内容 (単元)	主な評価の観点			単元（題材）の評価規準	評価方法
		a	b	c		
後期	第1章 人間の心と自己形成 1 青年期の課題と自己形成	○	◎	○	a. 人間の特質や心の仕組みと成り立ちを理解している。 b. 自己の生き方についての思索を深めている。 c. 人間の心のあり方について学習を深めている。	a. 定期考査などの筆記試験 b. 行動の観察、ワークシートにおける作業、レポート等の作成 c. 行動の観察、ワークシートの提出、レポート等の提出
	第2章 人間の存在や価値と宗教 1 ギリシアの思想 2 ユダヤ教とキリスト教 3 イスラーム 4 仏教 5 中国の思想 6 宗教や芸術	◎	○	○	a. 先哲の基本的な考え方を理解している。 b. さまざまな先哲の思想を比較しながら考察している。 c. 人生への問いや人間の存在や価値について、自己の課題と結び付けて思索している。	
	第3章 人間のあり方と社会 1 人間の尊厳 2 科学革命の時代と自然観 3 自由で平等な社会の実現 4 人間性の回復と主体性の確立	◎	○	○	a. 西洋近代の思想について、その背景も含めて理解している。 b. 人間のあり方や社会についての思想を自己の課題とつなげて考察している。 c. 原典資料を活用するなど、先哲の思想内容を主体的に学んでいる。	
	第4章 現代の人間と社会をとらえる思想 1 現代の思想と人間像 2 生命への畏敬と社会参加					
	第5章 国際社会に生きる日本人としての自覚 1 日本固有の思想 2 外来思想の受容 3 町人思想のめざめと庶民思想 4 西洋思想との出会い	◎	○	○	a. 日本人の人間観、自然観、宗教観などを理解している。 b. 日本人のものの考え方がどのように形成されたか、多面的・多角的に考察している。 c. 国際社会に生きる日本人として、自分の生き方やあり方について主体的に考えている。	
	第1章 自然や科学技術にかかわる諸課題と倫理 1 生命の問題と倫理課題 2 地球環境の問題と倫理的課題 3 科学技術の進展と倫理的課題	○	◎	○	a. 現代の倫理的課題を理解している。 b. 人間としてのあり方生き方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を探究している。 c. 現代の諸課題について、問題となっている事例を収集し、主体的に解決しようとしている。	
	第2章 社会と文化にかかわる諸課題と倫理 1 福祉の向上と倫理的課題 2 文化と宗教の影響と倫理的課題 3 国際平和と倫理的課題					